

赤ちゃん抱っこ「かわいい」

白鷹町の荒砥高（石田充校長）の生徒が乳幼児と触れ合う体験会が1日、町子育て支援センター「にこぽーと」で開かれ、生徒が育児の喜びと大変さを学んだ。

保育の授業を選択した2、3年の計10人が参加し、生後3～9カ月の赤ちゃん6人と触れ合った。

白鷹・荒砥高生が体験

着替えをさせてあげたり、自作のおもちゃであやしたりし、保護者からは育児の楽しさのほか苦労を聞いた。

3年^{いづみ}五十公野夏輝さん(18)は「赤ちゃんはみんなかわいかった。将来のために良い経験ができた」と話した。体験に先立ち、同町健康福祉課の保健師大木陽子さんが、生徒たちに抱っこやおむつ交換の方法などを、人形を使い伝えた。（根本光輝）



乳幼児を抱っこする荒砥高生
＝白鷹町子育て支援センター「にこぽーと」